

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.235

2025. 4. 28
発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 実務者会議
連絡先 県生協連・県消団連
TEL 019-684-2225
FAX 019-684-2227

新署名

「税金は暮らしの拡充に 戦争準備の軍拡は中止して、憲法、平和、いのち、暮らしを守る政治への転換を求める請願署名（略称＝大軍拡反対請願署名）」に、ご協力ください！

沖縄戦の歴史、基地問題などを「見て学び、聞いて学び、感じて学び合いました

—2月22日～25日全労連青年部主催「ユニオンニュースアカデミー2025 沖縄ピースツアー」参加報告—

○沖縄が抱える基地問題を学び、平和について改めて考える機会に

市役所に入庁してから戦争反対や辺野古新基地建設反対などの署名をしていましたが、実際の戦争とはどのようなものだったのか、普天間飛行場や辺野古新基地は現在どのような状態になっており、なぜ建設を強く反対するのか、実際に現地の状況を自分の目で見たら、話を聞いたりして学びたいと思い参加しました。

「平和記念公園とひめゆりの塔」 沖縄戦の様子を学び、10代の女学生らがどの様にして亡くなっていったかを知り、戦争の残酷さを感じるとともに、自分の子どもにも絶対に起こって欲しくないと感じさせられました。

「普天間飛行場や辺野古新基地」 “世界一危険な飛行場”として知れる普天間飛行場。現地を見学すると、直ぐ周りに住宅や学校が密集しているのが分かり、その危険性と騒音被害の実態を体験しました。また、辺野古新基地建設では、当初3,500億円程とされていた工事が、最終的に2.6兆円を超えることまで言われていることを知り、住民が生活に窮している中で、税金が民意に反し使われていないことに落胆すら感じさせられました。

「南風原文化センターと沖縄陸軍病院壕跡」 中は真っ暗で湿度が90%を超えるところもあり、とても不快でした。劣悪な環境の中でまともな医療行為も受けられず、いつ米兵が攻めてくるか分からない恐怖の極限の状況の中で生活していたことや自分が今立っているところで自決した人がいたと考えると、とても言葉になりませんでした。

今回のツアーで、実際に現地を見学しガイドの話聞く中で、知らなかったことが沢山あったことを痛感し、沖縄だけでなく日本全体の問題だということ認識させられました。今後も戦争反対・基地をめぐる活動に、より積極的に参加して行きたいと思います。（岩手自治労連・後藤俊太）



○より多くの同世代、これからを担う若者に発信し、平和を共に学ぶ機会を作って行きたい

今回初めてピースツアーに参加させていただき、沖縄戦の歴史と現状を学ぶことができました。

ツアー前は、辺野古の新基地建設や米軍基地周辺の騒音問題など、資料やデータで得た知識はあっても実態をイメージできずに「なんとなく危険なもの」としての認識に留まっていた。

しかし、「基地問題は国やアメリカの問題だけではなく生活・人権・環境の問題だ」というガイドの方のお話を伺い、無茶な軍港建設計画で次々と壊されていく生態系や、規則を無視して平気で子ども達の頭上を通り過ぎていく戦闘機を許容する国の姿勢、米軍への保障へ多額の資金を注ぎ込む一方で沖縄県民や国民への負担を強いる政策はまさに我々の生活・人権・環境に密接に関わる問題であると感じました。

私は普段、医療福祉の現場で働く職員や仲間には社会保障と平和を考えるための研修、フィールドワークを企画する仕事をしています。より多くの同世代、これからを担う若者に発信し、共に学ぶ機会を作って行きたいと思います。（岩手民医労・高橋智子）

映画「戦雲—いくさふむ—」盛岡上映会 開催報告

3月29日に開催し、2回上映で計340人の方にご来場いただきました。「沖縄の実態知らない国民が多い。もっと広く知らせるべき」「沖縄をまた戦争の犠牲にするのかと怒りが込み上げ、涙があふれてきた」「軍備拡大、戦争をしない未来を子どもたちに残していく必要があると強く感じた」などの感想が寄せられました。ありがとうございました。

<お詫び>

上映素材・機材トラブルにより、1回目の上映で最後まで上映できず、また画像の乱れもあり、映画を楽しみにしてお越しくくださった皆さま、チケット普及にご協力いただいた皆さまに大変ご迷惑をお掛けしました。心よりお詫び申し上げます。再度の上映会（無料）を検討しておりますので、しばらくお待ちください。



《お知らせ》

◇猿田佐世さん講演会「外交で平和を作るとはなにか～一人ひとりができること」

(九条の会東北交流会inいわて)

とき 5月24日(土) 13:00~16:00

ところ 盛岡市プラザおでって おでってホール

参加無料

第1部：猿田さん講演会、第2部：東北6県の9条の会交流会

※第1部講演会のみ参加も歓迎します。

YouTube でライブ配信も実施します。

<https://www.youtube.com/live/kWzid23lxqE>

※回線の状況によりご覧いただけない場合もございますので、あらかじめご了承ください。



◇「九条の会ブックレット “石破政権の戦争する国づくり改憲と対決する”」

昨年11月18日に、九条の会主催で開催した学習会の内容を掲載。事務局の渡辺治氏「石破政権における改憲、軍拡政策の新局面と私たちの課題」や、小沢隆一氏「『戦争する国』づくり 改憲の危険な憲法論と安全保障観」の講演をもとに書き下ろしたブックレットです(2025年1月27日発行 A5判・84頁 1冊500円送料別)。

購入したい場合は1冊400円(送料込)でお譲りします。ご注文は岩手県生協連まで。

コラム = —ウクライナ停戦交渉の促進と早期の終戦に向けて！—

このコラムでは、ロシアによるウクライナ侵略戦争の早期の停戦、終戦のため、声をあげ続けてきました。アメリカ「主導」の「交渉」も遅々として進まず、ロシアによるひきのばしやウクライナ・ゼレンスキー大統領の「不平・不満」の発言が顕著な状況であります。平和の実現を望む世界の諸国民にとって残念な状況です。

このコラムでは、国連安保理「会合」での「政治平和構築局次長」のスピーチ(「公正な解決基準」)を示すなど、声をあげ通けております。加えて、「日本国憲法下の内閣総理大臣」の石破首相に対して、「日本国憲法」に基づく「外交」を行うよう求めてもおります。しかし、その姿勢を見せず、「アメリカ追随の姿勢」を取るばかりです。

こうなれば、「自民党政治、さよなら！」を実現しなければならない時ではないでしょうか？(T)

「5月の岩手の会街宣行動」9日(金)12:30~13:00 盛岡市大通・野村証券前

ご都合のつく方は、ぜひご参加ください！